

2024年2月13日

株式会社 NTT ドコモ

## AT&T、Verizon、Jio などと米国におけるオープン RAN の検証を実施 ～ドコモが設立メンバーのコンソーシアムが NTIA の助成金を受賞～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、AT&T Inc.（以下、AT&T）や Verizon Communications Inc.（以下、Verizon）、Reliance Jio Infocomm Ltd.（以下、Jio）とともに設立したコンソーシアム（以下、本コンソーシアム）の「ACCoRD プロジェクト」※<sup>1</sup>（以下、本プロジェクト）を通じて、米国におけるオープン RAN の検証を実施いたします。本コンソーシアムは、米国の商務省国家電気通信情報庁※<sup>2</sup>（NTIA※<sup>3</sup>）より総額 4,230 万ドルのオープン RAN の検証に関する助成金「Public Wireless Supply Chain Innovation Fund」（以下、Wireless Innovation Fund）※<sup>4</sup>を 2024 年 2 月 12 日（月曜）に受賞いたしました。

Wireless Innovation Fund は、無線通信機器市場におけるオープンで相互接続可能なソリューションの推進とエコシステムの活性化を目的に、それら技術・機器の検証と導入・展開を前進させる取り組みに対して助成金を割り当てるプログラムです。

ドコモを含む米国内外の通信事業者と米国の大学で構成される本コンソーシアムは、サプライヤーの通信機器ベンダーと連携し、マルチベンダーにおけるオープン RAN 接続を検証し、商用品質まで高めたオープン RAN の普及に向けて取り組みます。

ドコモは、4G 時代から複数の通信機器ベンダーで通信ネットワークを構築してきた知見や、5G ネットワークへオープン RAN を導入した知見を活かし、大手ベンダーと新興ベンダーとの通信機器同士のインテグレーション、相互接続の実現に貢献します。

ドコモは、本プロジェクトの取り組み、および世界の通信事業者のオープン RAN 導入支援を進める「OREX<sup>®</sup>」の取り組みを通じてオープン RAN の早期普及に貢献してまいります。

※<sup>1</sup> ACCoRD : Acceleration of Compatibility and Commercialization for Open RAN Deployments

※<sup>2</sup> 米国および国際情報通信政策における大統領の主要諮問機関

※<sup>3</sup> NTIA : National Telecommunications and Information Administration

※<sup>4</sup> 2022 年に米国において成立した CHIPS 法に含まれるオープン RAN に関わるファンド

\* 「OREX」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です

本件に関するお問い合わせ先

【報道機関】  
株式会社 NTT ドコモ  
グローバルビジネス部 ビジネスマネジメント担当  
orex\_contact@ml.nttdocomo.com

**本プロジェクトの概要**

コンソーシアムの構成企業	【設立メンバー】 ・米国の通信事業者 : AT&T、Verizon ・米国以外の通信事業者 : ドコモ、Jio  【学術研究機関】 ・米国の大学
サプライヤー	【通信機器ベンダー】 ・日本、米国、欧州などの RAN ベンダー ・米国の仮想化ベンダー、サーバーベンダーなど
役割分担	・米国の通信事業者 : オープン RAN 検証の企画、実行管理 ・米国以外の通信事業者 : オープン RAN 検証の企画、対策検討（検証・インテグレーションの知見提供） ・通信機器ベンダー : 装置・ソフトウェア提供、検証サポート ・学術機関 : 検証ラボの物理環境提供、検証の実行
検証内容	・オープン RAN 検証センターの設立 ・既存のネットワークからオープン RAN へのマイグレーションのシナリオの検討 ・大手ベンダーの 4G・5G ネットワークへの新興ベンダーのオープン RAN ソリューションの導入 ・検証活動により得られた知見の 3GPP や O-RAN ALLIANCE 仕様へのフィードバックなど